

## 1. この歌の背景

元は古い西インド諸島のフォークソングです。"The John B sails"あるいは"The wreck of the John B"のタイトルでも親しまれています。歌詞に出てくるナッソーはバハマの首都であり、また港町でもあります。ここは同時にカリブ海で活躍する海賊たちの隠れ場所でもありました。

## 2. 日本語訳

We come on the sloop "John B"  
My grandfather and me,  
Around of Nassau town we did roam  
And drinking all night  
Got into a fight  
Well I feel so break up,  
I want to go home

爺さんと俺は、帆船ジョンB号でやって来て、  
2人でナッソーの街をぶらついた。  
それから一晩中飲み明かし、  
殴り合いになった。  
ああ、すべてはこれでお終いだ。  
俺は故国(くに)に帰りたい。

So hoist up the "John B" sails  
And see how the main sails set.  
Send for the captain ashore  
Let us go home! let us go home!  
We feel so break up,  
We want to go home.

ジョンB号の帆を揚げてくれ、  
メイン・セイルの状態を見てくれ。  
陸(おか)にいる船長を呼んできてくれ。  
さあ、故国へ帰ろう! さあ、故国へ帰ろう!  
ああ、すべてはこれでお終いだ、  
俺は故国(くに)へ帰りたい。

The first mate he got so drunk  
And broke up the captain's trunk  
Constable had to take him away.  
Oh, Sheriff John Stone,  
Please let me alone.  
Well, I feel so break up,  
I want to go home.  
(Repeat)

1等航海士、奴はひどく酔っぱらった。  
そして船長の軀幹(からだ)を傷つけた。  
保安官がやって来て彼をしょっ引いて行った。  
おお、保安官ジョン・ストーン、  
頼むから放っておいてくれ。  
ああ、すべてはこれでお終いだ、  
俺は故国(くに)へ帰りたい。

The poor cook, Oh, he got fits  
And ate up all of grits  
And then he threw away all the corn  
Oh, Sheriff John Stone,  
Please let me alone,  
Well, this is the worst trip I've ever been on.  
(Repeat)

哀れなコック、奴は発作を起こして、  
グリッツを全部平らげた。  
それから奴はトウモロコシ全部を投げ捨てた。  
おお、保安官ジョン・ストーン、  
頼むから放っておいてくれ、  
ああ、この航海は俺に取っちゃ今迄で最悪だ。

\* Sloop: 1本マストの帆船、grits: 挽き割りトウモロコシ(米国南部でしばしば朝食に食べる)

日本語訳: 宮崎多加雄